

持続可能な開発のための人工知能、データガバナンス及びイノベーションに関するタスクフォース議長声明
(南アフリカ共和国・ケープタウン 2025 年 9 月 30 日)

南アフリカ共和国が議長国を務める G20 で開催された「持続可能な開発のための人工知能、データガバナンス及びイノベーションに関するタスクフォース」会合は、AI の恩恵を最適化しつつリスクを軽減することの重要性を確認した。さらに、人類の利益のために、公平で包摂的で、安全、安心で信頼できる、責任ある、倫理的かつ持続可能なグローバルな AI 環境を構築するにあたり、全ての国が実質的に参加する必要性を認識した。

国際協力の必要性を認めつつも、本会合は、各国が国際法及び適用可能な法的枠組みに従い、AI を開発・利用・規制する権利を有することを確認した。

本会合は、マルチステークホルダーの参加を促進しつつ、人権及びセキュリティ、プライバシー、個人データ保護、知的財産権に関する適用可能な法的枠組みと整合する、リスクベースで人間中心、開発志向、イノベーションに友好的な AI 政策・ガバナンスアプローチへのコミットメントを再確認した。

本会合は、持続可能な開発のための安全、安心で、信頼できる人工知能システムの機会確保に関する国連総会決議（A/RES/78/265）及び AI の能力構築に関する国際協力の強化に関する決議（A/RES/78/311）を歓迎し、グローバル・デジタル・コンパクトを想起し、開発途上国の有意義な参加を促進する、包摂的なマルチステークホルダー及び多国間での協力、並びにグローバルな AI ガバナンスの促進の重要性を強調した。さらに、ITU の「AI for Good サミット」やユネスコの「AI の倫理に関する勧告」、2019 年に採択された G20 AI 原則のようなこれまでの G20 の取組など、その他の地域及び国際的な取組も評価した。

AI 政策とガバナンスに関する選定された促進課題とイニシアティブ

主要テーマ

2025 年 9 月 29 日付議長声明（付属書 1）に反映されたデジタル経済作業部会の議論を踏まえ、以下の追加主要テーマが検討された：

公平な AI の基盤としてのデータガバナンス

本会合は、データガバナンスが責任ある、信頼できる、公平で包摂的かつ持続可能な AI

の開発に不可欠であることを認識した。我々は、AI とデータガバナンスの相互補完性の重要性を強調する。本会合は、「G20 データガバナンスと AI に関するハイレベル・ワークショップ」並びに AU、UN ODET、RIA が作成した「公平かつ持続可能な AI のためのデータガバナンス優先事項に関する付属文書」、及び南アフリカ G20 議長国下で UNESCO が作成したツールキットに留意した。(付属書 2)

公共部門における AI

本会合は、適用可能な法的枠組みに従い、市民と企業の双方に対する公共サービスの提供を強化し、政府の効率性を高めつつ、人権を尊重し、透明性、公平性、説明責任を促進するため、公共部門における安全、安心で責任ある、信頼できる AI の導入を支持した。本会合は、南アフリカ G20 議長国下でユネスコが作成した「デジタル変革：公共部門における能力構築」に関する問題概要に留意した。効果的なデジタルガバナンスは、公務員が分野固有の専門知識と並行してデジタル能力を開発することに依存している。

AI における科学研究と開発

本会合は、国際協力の強化を促し、様々な分野における AI 科学研究、イノベーション、開発の適用を加速させると同時に、こうした研究の安全性と完全性を確保することを求めた。この協力は、強化された計算インフラ、アクセス可能なデータセット、対象を絞った訓練と技術開発、パートナーシップと資金調達メカニズム、共同科学プログラムなど、共有され地域に根差した能力構築の必要性に基づいて推進される。

本会合では、国際的義務及び各国の規則・規制に従い、自発的かつ相互合意に基づく条件で提供されるオープンサイエンス、オープンイノベーション、共有データセット、オープンソースソフトウェア・データが、地域 AI エコシステムの発展促進に寄与し得ることを認識した。

情報の正当性

情報の正当性、オンライン安全性及びデジタル経済に対する悪用リスクが継続的かつ増大していることを懸念しつつ、一部の G20 メンバーは「生成 AI と低コストで高品質なディープフェイクを生成するその進化する能力に関するワークショップ」に参加した。また、偽・誤情報の拡散と政策対応に対する技術的検知能力の向上策を検討するとともに、生成 AI アプリケーションやソーシャルメディアプラットフォームがこうしたコンテンツに透かしやラベルを付けるために講じ得る措置について考察した。メディアがこれらの問題について公衆に警鐘を鳴らす重要な役割であることを活用しながら、オンライン利用者のデジタルリテラシーとスキル向上も、ディープフェイクへの認識を高め、オンライン安全を促進する上で重要である。

AI における多言語・多文化の表現

先住民言語及び地域言語における高品質なデータセットの作成と利用可能性は、AI が多様性を尊重し成果を上げるために不可欠である。アクセスは、伝統的知識、地域の所有権、プライバシー、セキュリティ、人権、著作権を含む知的財産権などの法的権利、そして革新、透明性、公正な報酬の必要性を尊重する方法で提供されるべきである。

知的財産権、及び先住民族や地域社会の文化的遺産、言語的・伝統的知識は、AI ライフサイクル全体を通じて尊重されるべきである。同時に、文化的適性を考慮し、プライバシー権を尊重し、データ保護を確保しつつ、すべての人の利益となるイノベーションを可能とする仕組みを確立する必要がある。

AI for Africa イニシアティブ

本タスクフォースは、本会合がアフリカ大陸で初めて開催される G20 議長国であることを認識しつつ、アフリカが AI イニシアティブを推進する取組を評価する。AI は、女性のエンパワーメント、工業化、大陸における包摂的成長を含む AU アジェンダ 2063 の開発目標達成を加速させる大きな可能性を秘めている。したがって本会合は、AU（アフリカ連合）が南アフリカ G20 議長国と連携して策定した「AI for Africa イニシアティブ」を、G20 と AU 間の多国間・マルチステークホルダー間の協力のための自主的プラットフォームとして認識した。我々は、アフリカにおける AI 開発と普及の基盤として、アフリカ諸国における計算能力へのアクセス、AI 人材育成・訓練、高品質かつ代表的なデータセット、インフラの整備を推進する。

本会合は、ITU が主催する「AI for Good Impact Africa」などのイニシアティブや、アフリカ大陸自由貿易圏（AfCFTA）がアフリカにおける AI の拡大に向けたエコシステム構築で果たし得る役割を認識した。我々は、技術的・財政的資源の自発的貢献を通じたアフリカ AI エコシステムの開発、及び大陸に持続可能な価値を生み出す投資モデルに焦点を当てた長期的パートナーシップに基づく、アフリカ中心の主権的 AI 能力の開発を奨励する。

技術政策支援ファシリティ

本会合は、南アフリカ G20 議長国下で UNESCO による技術政策支援ファシリティ (TPAF) の策定を歓迎した。これは、人権を尊重し、国家及び世界の公益に沿った AI 政策の形成において、G20 メンバー及びそれ以外の国々を支援することができる。

今後の取組

本会合は、すべての G20 メンバー、ゲスト国、及び招待国際機関に対し、AI とデータのガバナンスに関する国際的な議論に積極的に貢献し、関連するリスクに対処し開発の可能性を実現するための最適な対応策を特定するよう促した。

本会合は、全ての G20 メンバー、ゲスト国及び招待国際機関の貢献を高く評価した。G20 南アフリカ議長国は、ナレッジパートナーとして参加した全ての関係者、特に UNESCO、UN ODET、OECD、ITU、ILO、UNDP、アフリカ開発銀行 (AfDB)、Research ICT Africa、プレトリア大学に対し、謝意と感謝の意を表する。さらに、市民社会および及び B20、T20、M20 といったエンゲージメント・グループが、AI、データ、イノベーションに関連する課題に取り組む上で果たした建設的な役割を高く評価する。

付属書 2：データガバナンスと AI に関する G20 ハイレベル・ワークショップ

このワークショップは、南アフリカ議長国の下で作成された「公平かつ持続可能な AI のためのデータガバナンス優先課題」に関する文書とあわせて、各国が信頼できるデータおよび AI ガバナンスに向けたアプローチを策定することを支援することを目的として開催された。

その優先課題は国ごとに異なりうることを認めつつも、データガバナンスは、AI 開発のための質の高いインプットへの公平なアクセスを促進する上でどの国においても中心的な役割を果たすことは明らかであり、また、権利者の同意及び補償において鍵となるものである。セキュリティ、プライバシー及び個人データ保護、人権並びに知的財産権に関して適用される法的枠組みに準拠した、多言語かつ多様で質の高いデータへのアクセスは、倫理的で効果的な AI モデルの学習および及び応用にとって不可欠である。

AI タスクフォースにおけるデータガバナンスに関する議論では、信頼性のある自由なデータ流通の重要性、そして、適切な場合において国際協力が、相互運用性、データセットへのアクセス及び AI イノベーションを支えるため、どのようにデータガバナンスや技術標準の整合性強化に資するのかについて言及された。

さらに、この対話では、テクノロジー企業が各国の AI 開発の取組に貢献することが奨励された。そのような貢献には、データの価値の抽出も含まれる。また、地域言語のデータセットや文化に関連するトレーニング素材を優先するための多国間・地域間・ローカルなデータプールの形成を支えるにあたって重要な、官民パートナーシップを含む資金調達手法に注目が集まった。

これらの知見は、研究者や中小零細企業に公平な競争環境を確保しながら、国内のプライバシー法および法的枠組みに整合した形で、公共部門、民間部門および及び市民社会の間で適切なデータ共有を促進する取組を支援することの価値を強調するものであった。

ユネスコが G20 議長の下で作成したデータガバナンス・ツールキットは、G20 のテーマに関連するデータシステムを解き明かすとともに、合成データ、生成 AI、エージェント型 AI などの課題に対応するためのアジャイルガバナンスの必要性を強調している。また、データ保護機関や情報公開監督機関が果たす重要な役割についても認識されている。